

平成29年3月修了

有機・高分子物質専攻 修士論文発表会 プログラム

平成29年2月13日(月)

会場:南8号館102号室

開始時間 終了時間	発表者氏名	司会教員	審査員	論文題目
9:00 9:30	相澤 直樹	石曾根 隆	手塚 育志 大塚 英幸	1,1-ジフェニルエチレン類のアニオン付加反応による鎖末端に定序性ユニットを有する高分子の合成
9:30 10:00	倉島 玲央	石曾根 隆	手塚 育志 大塚 英幸	トリメチルシリルメチル基を有する1,3-デヒドロアダマンタン類の開環重合
10:00 10:30	小泉 太郎	石曾根 隆	高田 十志和 早川 晃鏡	4-ハロスチレン類のアニオン重合
10:30 11:00	上條 太治	石曾根 隆	高田 十志和 早川 晃鏡	α 位にフェニル基を有するビニリデン化合物のアニオン付加反応
11:00 11:30	鈴木 菜穂	大塚 英幸	高田 十志和 芹澤 武	脂肪族または芳香族ジセレニド結合を有する高分子の合成と動的挙動
11:30 12:00	鷺見 聡一	大塚 英幸	石曾根 隆 道信 剛志	高感度な力学応答性分子プローブの開発と置換基による電子的効果に基づく高分子の力学応答性制御
13:00 13:30	古川 茂樹	大塚 英幸	早川 晃鏡 松本 英俊	ジアリールビベンゾフラン含有高分子の結晶性と配向性がメカノクロミック特性に及ぼす影響
13:30 14:00	富田 眞輝	柿本 雅明	手塚 育志 早川 晃鏡	芳香族エーテルスルホン骨格を有するハイパーブランチポリマーの触媒作用に関する研究
14:00 14:30	田鎖 暢浩	柿本 雅明	手塚 育志 早川 晃鏡	芳香族テトラカルボン酸二無水物モノマーの自己縮合反応によるハイパーブランチポリエーテルケトンの合成
14:30 15:00	河相 龍宜	柿本 雅明	芹澤 武 早川 晃鏡	ハイパーブランチポリスチレン末端への直鎖ポリマーの修飾とその機能に関する研究
15:00 15:30	浅野 充輝	戸木田雅利	安藤 慎治 古屋 秀峰	棒状ポリペプチド-コイル二元ブロック共重合体の構造解析
15:30 16:00	伊藤 涼音	戸木田雅利	野島 修一 早川 晃鏡	架橋ポリメタクリレートが両端に結合した主鎖型液晶性ポリエステルマイクロ相分離構造と伸縮挙動
16:00 16:30	相澤 洋介	戸木田雅利	川内 進 道信 剛志	光学活性側鎖を有するシンジオタクチック・ポリメチレンの主鎖らせんコンホメーション
16:35 17:20	野原 崇稔	芹澤 武	高田 十志和 野島 修一 斎藤 礼子 小西 玄一	機能基を導入したナノセルロースの酵素合成と特性評価

平成29年2月13日(月)

会場:南8号館623号室

開始時間 終了時間	発表者氏名	司会教員	審査員	論文題目
9:00 9:30	三輪 祐次郎	大内 幸雄	森 健彦 松本 英俊	IV-SFG法を用いたイオン液体/Pt電極界面構造に関する研究
9:30 10:00	大橋 光浩	大内 幸雄	バッハ・マーティン 川内 進	IV-SFG法を用いたイオン液体/電解質水溶液界面構造の電解質濃度依存性に関する研究
10:00 10:30	太田 洋介	鞠谷 雄士	扇澤 敏明 塩谷 正俊	高速熔融紡糸法により作製した各種熱可塑性ポリウレタン繊維の構造と力学特性
10:30 11:00	米田 優	石川 謙	鞠谷 雄士 松本 英俊	フーリエの切断定理の一軸性有機材料への適用
11:00 11:45	劉 芽久哉	森川 淳子	大内 幸雄 扇澤 敏明 石川 謙 塩谷 正俊	高精度熱物性同時測定法の有機機能性材料への応用と相転移の熱解析
13:30 14:00	黒柳 雄介	塩谷 正俊	森川 淳子 鞠谷 雄士	カーボンナノチューブを添加したエポキシ樹脂の接着特性に関する研究
14:00 14:30	丸田 真也	塩谷 正俊	森川 淳子 鞠谷 雄士	炭素系ナノフィラーを添加したフッ素系エラストマーの力学特性
14:30 15:00	谷 美紗子	高田 十志和	大塚 英幸 道信 剛志	ニトリル-N-オキシド基含有ロタキサンの合成と高分子の無触媒修飾
15:00 15:30	水野 舜也	高田 十志和	手塚 育志 道信 剛志	クロスカップリング反応における環状触媒の効果と高分子反応への展開
15:30 16:00	廣瀬 拓真	高田 十志和	石曾根 隆 手塚 育志	Pd含有マクロサイクル触媒を用いるプロパルギルウレタンの分子内ヒドロアミノ化反応
16:00 16:30	岩瀬 卓也	高田 十志和	石曾根 隆 大塚 英幸	ロタキサンにおけるコンポーネントの協奏効果とロタキサン触媒

平成29年2月14日(火)

会場:南8号館102号室

開始時間 終了時間	発表者氏名	司会教員	審査員	論文題目
9:00 9:30	中村 昂志	手塚 育志	高田 十志和 道信 剛志	双性イオン型直鎖テレケリクスの分子内ESA-CF法による新規環状高分子合成法の開発
9:30 10:00	八ツ波 俊明	手塚 育志	石曾根 隆 早川 晃鏡	環状両親媒性高分子ベシクルのゲスト包摂による安定性の研究
10:00 10:30	濱崎 愛子	道信 剛志	石川 謙 早水 裕平	架橋反応を利用した感圧塗料センサーの高性能化
10:30 11:00	佐野 祥子	道信 剛志	バッハ・マーティン 松本 英俊	圧力および温度の同時計測を可能にする2色発光型高分子センサーの開発
11:00 11:30	細川 竜平	道信 剛志	森 健彦 早川 晃鏡	ベンゾビスチアチアゾールから成る有機半導体高分子の合成とトランジスタ特性
13:00 13:30	土屋 匠平	早水 裕平	バッハ・マーティン 道信 剛志	ペプチド共自己組織化を利用した生体分子足場の構築とその評価
13:30 14:00	久嶋 悠太	早川 晃鏡	柿本 雅明 道信 剛志	ブロック共重合体を鋳型として利用した全芳香族ポリアミド酸及びポリイミドの周期的ナノ構造の創成
14:00 14:30	奥津 隆志	早川 晃鏡	柿本 雅明 道信 剛志	フッ素含有ブロック共重合体による自発的な孔形成を用いた多孔質膜の創製
14:30 15:00	小田島 凜	早川 晃鏡	柿本 雅明 石曾根 隆	ケイ素含有ブロック共重合体の薄膜におけるマイクロ相分離構造の配向制御による微細パターンの形成
15:00 15:30	鷹野 広季	早川 晃鏡	柿本 政明 石曾根 隆	リビングアニオン重合による含フッ素ポリメタクリル酸エステル合成
15:30 16:00	大山 莉奈	芹澤 武	大塚 英幸 早川 晃鏡	ファージディスプレイ法による界面活性を有するペプチドの探索と特性評価
16:00 16:45	鈴木 星冴	芹澤 武	石曾根 隆 中嶋 健 古屋 秀峰 佐藤 満	温度応答性高分子に結合するペプチドが示す分子ツール機能

平成29年2月14日(火)

会場:南8号館623号室

開始時間 終了時間	発表者氏名	司会教員	審査員	論文題目
9:00 9:30	結城 貴皓	松本 英俊	大内 幸雄 浅井 茂雄	無機ナノファイバーを利用したイオン液体のゲル化と凝固体化電解質への応用
9:30 10:00	松園 拓人	古屋 秀峰	安藤 慎治 扇澤 敏明	表面グラフト化ポリアスパルテート薄膜における主鎖らせん反転挙動と配向構造
10:00 10:30	阿賀野 静	小西 玄一	川内 進 斎藤 礼子	フルオレンおよびピレンを基盤とする蛍光ソルバトクロミック色素の構造と物性の相関と機能性高分子への応用
10:30 11:00	森下 直哉	小西 玄一	石曾根 隆 斎藤 礼子	光誘起電子移動反応を経由するケイ酸誘導体の二量化と高分子合成への応用
11:00 11:30	高橋 祐貴	川内 進	森川 淳子 古屋 秀峰	分子動力学法を用いた4-n-alkyl-4'-cyanobiphenyl(nCB)の熱伝導率シミュレーション
11:35 12:05	出口 光	川内 進	高田 十志和 早川 晃鏡	Ru(0)触媒による共役ジエンとヘテロ環状化合物の交差二量化反応機構の理論的解明
13:00 13:30	青木 大	野島 修一	中嶋 健 浅井 茂雄	2,5-フランジカルボン酸系ポリエステル構造と物性
13:30 14:00	河津 光俊	野島 修一	石曾根 隆 戸木田 雅利	シリンダー状ナノ空間内に拘束された高分子鎖の結晶化に及ぼす末端基の影響
14:00 14:30	今 智範	斎藤 礼子	高田 十志和 大塚 英幸	マルチビニルモノマーの鑄型重合における主鎖立体規則性への影響
14:30 15:00	橋本 尚典	斎藤 礼子	大塚 英幸 小西 玄一	脂環式エポキシ基を有するブロック共重合体の精密合成、及び、有機-シリカナノ複合体への応用
15:00 15:45	清田 泰裕	森 健彦	大内 幸雄 バツハ・マーティン 早水 裕平 腰原 伸也	有機電荷移動錯体の熱電材料特性
15:45 16:30	劉 東昊	森 健彦	石川 謙 川内 進 道信 剛志 松本 英俊	チェノイソインジゴを主骨格とした誘導体の合成と物性および有機電解効果トランジスタへの応用